

ハーベスト アジア フロンティア株式ファンド

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第8期(決算日:2019年10月25日)

作成対象期間(2018年10月26日～2019年10月25日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ハーベスト アジア フロンティア株式ファンド」は、2019年10月25日に第8期の決算を行いました。

当ファンドは、主として外国投資信託「ハーベスト・アジア フロンティア エクイティファンド クラスJ」への投資を通じて、アジア フロンティア諸国へ実質的に投資することで、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行いました。ここに期中の運用状況と収益分配状況についてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第8期末(2019年10月25日)

基準価額	12,186円
純資産総額	2,040百万円
第8期	
騰落率	△1.4%
分配金(税込み)合計	0円

(注1) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書(全体版)」より該当の決算期を選択ください。

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木 1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間:営業日の9:00～17:00

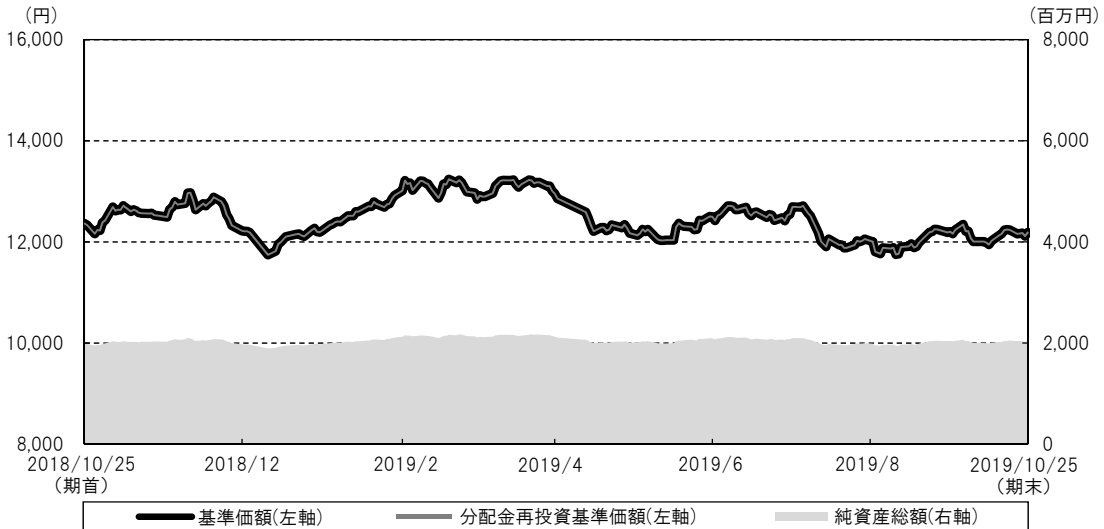
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiasset.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移

(2018年10月26日～2019年10月25日)



期 首：12,365 円

期 末：12,186 円 (既払分配金(税込み):0 円)

騰 落 率：△1.4% (分配金再投資ベース)

- (注1) 当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を記載しておりません。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したとみなして計算したファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、期首(2018年10月25日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

バングラデシュ、モンゴル、スリランカ、ベトナム、中国などのアジア・フロンティア株式やフロンティア関連株式などの上昇、為替の円安進行などが基準価額の主な上昇要因となりました。

下落要因

バングラデシュ、モンゴル、スリランカ、ベトナム、中国などのアジア・フロンティア株式やフロンティア関連株式などの下落、米中貿易摩擦の激化や中国の景気減速への懸念による世界的な株価急落、為替の円高進行などが基準価額の主な下落要因となりました。

1 万口当たりの費用明細

(2018年10月26日～2019年10月25日)

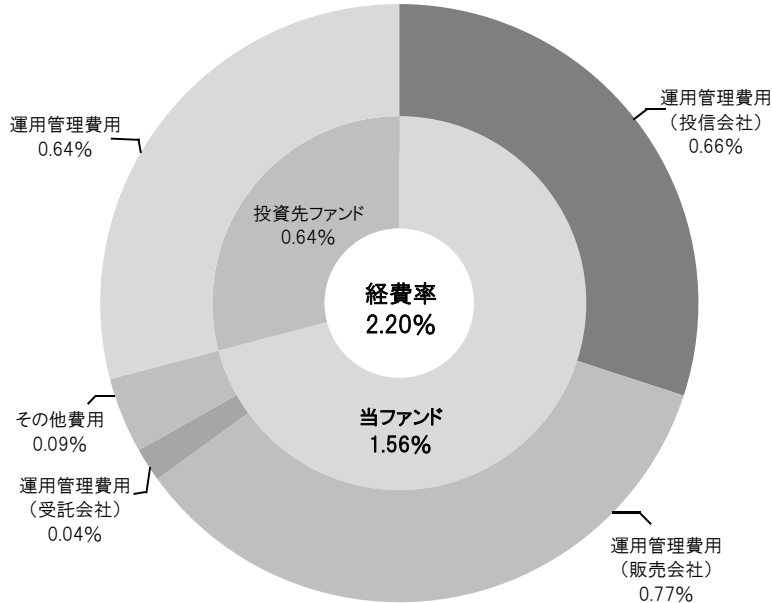
項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 184	% 1.474	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投 信 会 社）	（ 83）	（0.660）	委託した資金の運用の対価
（販 売 会 社）	（ 96）	（0.770）	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（受 託 会 社）	（ 6）	（0.044）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	12	0.094	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	（ 3）	（0.024）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印 刷）	（ 9）	（0.070）	開示資料等の作成・印刷費用等
（そ の 他）	（ 0）	（0.000）	信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	196	1.568	
期中の平均基準価額は12,510円です。			

- (注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。
(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しております。
(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
(注5) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。
当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」
に表示しております。

(参考情報)

○ 経費率(投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く)

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は2.20%です。



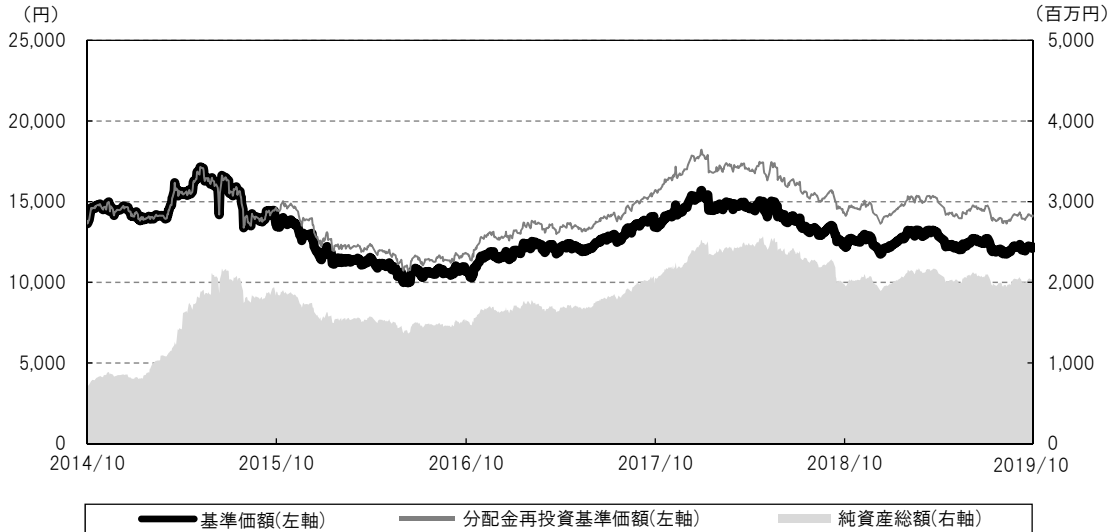
(単位:%)

経費率(①+②)	2.20
①当ファンドの費用の比率	1.56
②投資先ファンドの経費率(運用管理費用以外の費用を含む)	0.64

- (注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
 (注2) ②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理比率を乗じて算出した概算値です。
 (注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
 (注4) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。
 (注5) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。
 (注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
 (注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2014年10月27日～2019年10月25日)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したとみなして計算したファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2014年10月27日 決算日	2015年10月26日 決算日	2016年10月25日 決算日	2017年10月25日 決算日	2018年10月25日 決算日	2019年10月25日 決算日
基準価額 (円)	13,801	13,611	10,700	13,430	12,365	12,186
期間分配金合計(税込み) (円)	1,800	1,000	300	700	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	28.5	5.9	△19.2	32.1	△7.9	△1.4
純資産総額 (百万円)	662	1,834	1,506	1,984	1,985	2,040

(注1) 当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を記載していません。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

投資環境

(2018年10月26日～2019年10月25日)

※以下の内容は、当ファンドの主要投資対象である「ハーベスト・アジア フロンティア エクイティファンド クラスJ受益証券」(以下、ハーベストAFエクイティファンドと言います。)を運用するハーベスト グローバル インベストメント リミテッドからのコメントをS B Iアセットマネジメント株式会社が和訳・編集したものです。

2018年10月から2019年9月までのアジア・フロンティア市場の投資環境(株式市場・外国為替市場)

当期のアジア株式市場は、各国のGDP(国内総生産)成長率が回復したことに加えて、米連邦準備制度理事会(FRB)が政策金利を引き下げたことにより、堅調に推移しました。しかし、米中貿易戦争の長期化により、2019年4～6月期に頭打ちとなりました。その後は、米中通商協議において一部合意に向けた肯定的なニュースが報じられ、世界的な景気後退懸念が後退したため、安定的に推移しました。

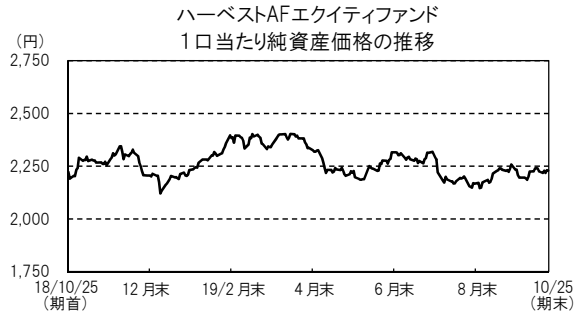
アジア・フロンティア市場では、引き続き堅調な経済情勢と株式市場の間に歪みが見られます。バングラデシュとベトナム市場は、精彩を欠く展開となりました。バングラデシュ市場は、民間銀行が低利で借入れ、株式市場に投資することを認可しましたが、こうした措置が株式市場の復調を促すとの楽観的な見方は短命に終わりました。ベトナム市場は、上昇しました

が、上昇したのは指数採用銘柄の大型株に集中する格好となりました。大型株を除けば、ベトナム市場全体では企業業績が脆弱まちなちだったため、投資家の関心は高まりませんでした。スリランカについては、4月に観光地での爆破テロに見舞われました。同国の株式市場は年間を通じて好材料がなく低迷しましたが、大統領選挙後は脚光を浴びる形となりました。

バングラデシュのGDP成長率は、今後数年間は前年比+8%前後で推移する見通しです。これは選挙後に製造業とインフラ向けの支出が成長を加速させることによるものです。これにより、民間部門及び公共部門の支出によって引き続き成長が促進されると考えています。また、サムスンとLGエレクトロニクスが最近バングラデシュに工場を建設することを決定しました。国内経済の他にも、海外で働くバングラデシュ人労働者からの母国向け海外送金(GDPの12%を占める)も引き続き堅調です。

ベトナム経済は、2019年初から9カ月間で前年比+7%の力強い成長となりました。2019年第3四半期のGDP成長率は同+7.3%に達し、2012年から2018年の第3四半期の成長としては過去最高でした。米中貿易戦争による関税の高騰により、中国及びその他の国のメーカーは、東南アジア内で比較的低コストであるベトナムに生産を移転し続けています。ベトナムの主要投資家として初めて中国が韓国を追い越し、合計59億米ドルが投資され、韓国は46億米ドルを投資しました。

スリランカ経済は、テロ攻撃の後、年間を通じて低調に推移しました。しかし、マヒンダ・ラジャパクサ前大統領の兄であるゴーターバヤ・ラジャパクサ氏が大統領選挙で勝利し、再び楽観的な見通しが広まりました。



(注1) グラフは、BNPパリバ セキュリティーズ・サービスが算出した数値に基づいています。

(注2) 報酬(固定報酬・成功報酬)控除後の数値です。

(注3) 純資産価格は、翌営業日の「ハーベスト アジア フロンティア 株式ファンド」の基準価額に反映されます。

当ファンドのポートフォリオ

(2018年10月26日～2019年10月25日)

<当ファンド>

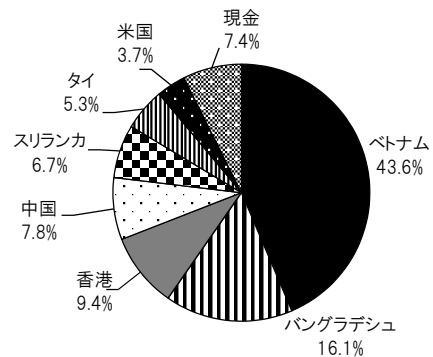
当ファンドは、2011年10月28日に運用をスタートし、当期は第8期となります。当ファンドは設定日以降、外国投資信託(円建て)「ハーベストAFエクイティファンド」を高位に組み入れています。当期の基準価額(分配金込み)は△1.4%の下落となりました。

<ハーベストAFエクイティファンド>

※ハーベストAFエクイティファンドを運用するハーベスト グローバル インベストメント リミテッドからのコメントをSBIアセットマネジメント株式会社が和訳・編集したものです。

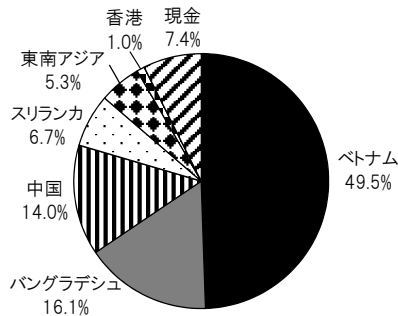
当期のハーベストAFエクイティファンドは、絶対収益ベースでほぼ横ばいとなりました。アジア・フロンティア市場のパフォーマンスは、他の主要市場に対して遅れを取っていました。個別銘柄の選択効果が当ファンドの主な収益源となったほか、中国やベトナム市場で選定したフロンティア関連株もプラス寄与となりました。なお、カザフスタン市場で保有していた素材セクターは、ハーベストAFエクイティファンドの収益を悪化させました。

投資市場別構成比率(2019年9月末現在)

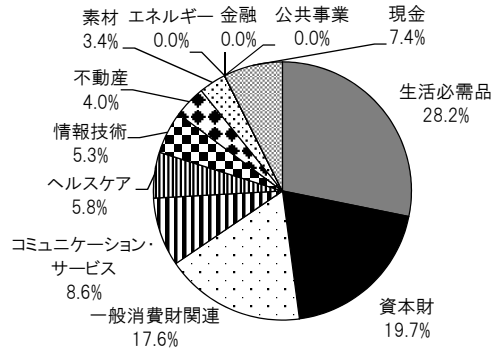


(注) 比率は投資信託証券の純資産総額に対する割合です。

投資対象国・地域別構成比率(2019年9月末現在)



セクター別構成比率(2019年9月末現在)



組入上位5銘柄(2019年9月末現在)

銘柄名	投資対象国・地域	業種	構成比
ベトナムデリー	ベトナム	生活必需品	9.0%
ベトジェットエア	ベトナム	資本財	8.2%
サイゴンビール・アルコール飲料総社	ベトナム	生活必需品	5.8%
ベトナム空港総社	ベトナム	資本財	5.3%
プリティッシュ・アメリカン・タバコ・バングラデシュ	バングラデシュ	生活必需品	5.1%

(注1) 「投資対象国・地域」は、実際の上場取引所の国々とは必ずしも一致しません。

(注2) 比率は投資信託証券の純資産総額に対する割合です。

(注3) ハーベストAFエクイティファンドのデータにつきましては、ハーベスト グローバル インベストメント リミテッドのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成しております。

<FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)>

主要投資対象である「短期金融資産 マザーファンド」の受益証券を高位に組入れ、これを維持しました。

「短期金融資産 マザーファンド」において、日銀の金融緩和継続により短期国債のマイナス金利が常態化するなか、国債と比較してより利回りの高い非国債セクターの保有短期債の満期償還以降は、コールローン等の比率を高めた運用を行い、市場運用ができない資金は受託銀行の金銭信託へ預け入れました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2018年10月26日～2019年10月25日)

当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を特定しておりません。

分配金

(2018年10月26日～2019年10月25日)

当期は、当ファンドの分配方針に基づき、収益分配可能額(配当等収益額から経費等を控除)を算出し、市場動向や基準価額の水準などを考慮した結果、当期の収益分配は行わないことといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第 8 期	
	2018年10月26日～ 2019年10月25日	
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%	
当期の収益	—	
当期の収益以外	—	
翌期繰越分配対象額	2,185	

(注1) 対基準価額比率は、当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金(税込み)と一致しない場合があります。

今後の見通しと運用方針

<当ファンド>

当初の運用方針通り、ハーベストAFエクイティファンドの投資を通じ、信託財産の中長期的な成長をめざした運用を行います。

<ハーベストAFエクイティファンド>

※ハーベストAFエクイティファンドを運用するハーベスト グローバル インベストメント リミテッドからのコメントをS B I アセットマネジメント株式会社が和訳・編集したものです。

2019年の株式市場は米中貿易戦争をめぐるポジティブまたはネガティブな投資家心理に左右される格好となっています。

製造業、インフラ、消費、観光といった我々の構造的・長期的な投資テーマは、引き続き変わっておりません。米中貿易戦争による短期的な先行き不透明感は、依然として続くとみています。短期的にはアジア市場は底打ちするとみられていますが、アジア・フロンティア市場はアジア市場に比べて世界の投資マネーの影響を受けにくく、時価総額の比較的大きいアジア域内の他市場の収益率を上回る可能性があることから、慎重ながらも楽観的な見通しを維持しています。

アジア・フロンティア市場は、依然として外国人投資家による十分な投資が行われていない状態が続いています。米中貿易戦争が解決しない場合、中国からアジア・フロンティア地域への製造業の雇用の移転が加速し、そうした事象によりアジア・フロンティア市場の株価が下支えられたとしても、驚くようなことではないと考えています。また、私たちは米中貿易協議の結果に関係なく工場が東南アジア諸国連合(ASEAN)とフロンティア諸国に多様化するという見方をしており、ベトナムやバングラデシュから米国への輸出は急速に増加していることが、考えの裏付けとなっています。

アジア域内のファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)が我々の見立て通りにならず、弱気相場で買い向かうことになった場合、私たちは引き続き市場を注意深く見守り、利益確定売りを行います。当初からの戦略スローガンであった「弱気相場で買い、強気相場で売る」に変わりはありません。年末に向かうにつれて、アジア市場は歴史的に見ても、翌年の第1四半期まで上昇する傾向にあります。

<FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)>

主として、短期金融資産 マザーファンドの受益証券への投資を通じて、わが国の短期金融資産など(短期公社債及び短期金融商品を含みます。)を中心に投資を行います。

お知らせ

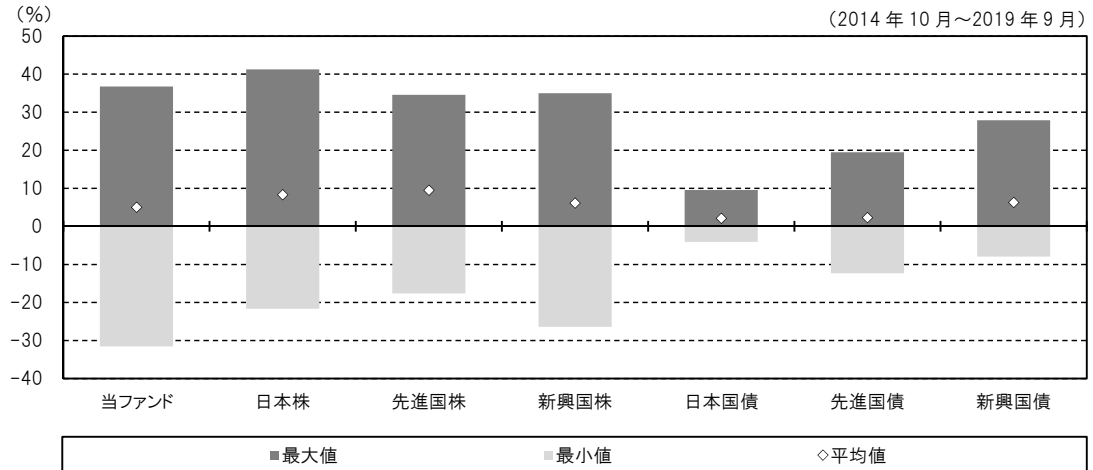
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限(2011年10月28日設定)
運用方針	投資信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行います。
主要投資対象	主として、外国投資信託「ハーベスト・アジア フロンティア エクイティファンド クラスJ」受益証券と「FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)」受益権を主要投資対象とします。
運用方法	①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 ③株式への直接投資は行いません。 ④デリバティブの直接利用は行いません。ただし、当ファンドが投資対象とする外国投資信託証券においてデリバティブを利用する場合があります。 ⑤投資信託証券、短期有価証券及び短期金融商品等(短期投資を目的とする公社債等の有価証券を含みます。)以外への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時(毎年10月25日。休業日の場合は翌営業日とします。)に原則として以下の方針により分配を行います。 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とし、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して収益分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わない場合があります。将来の分配金の支払い及びその金額について保証するものではありません。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	36.8	41.2	34.5	35.0	9.5	19.5	27.9
最小値	△ 31.6	△ 21.7	△ 17.6	△ 26.4	△ 4.1	△ 12.3	△ 8.0
平均値	5.0	8.3	9.5	6.1	2.2	2.3	6.3

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2014年10月から2019年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注4) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

- 日本株…Morningstar 日本株式
- 先進国株…Morningstar 先進国株式(除く日本)
- 新興国株…Morningstar 新興国株式
- 日本国債…Morningstar 日本国債
- 先進国債…Morningstar グローバル国債(除く日本)
- 新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て利子・配当込みのグロス・リターン指数です。

*各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2019年10月25日現在)

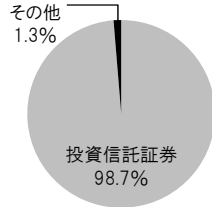
○組入上位ファンド

銘柄名	第8期末
ハーベスト・アジア フロンティア エクィティファンド クラスJ	98.7%
FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)	0.0%
組入銘柄数	2銘柄

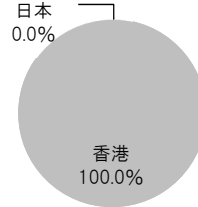
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

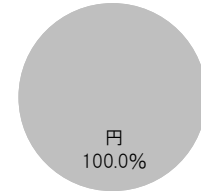
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分は組入株式評価額に対する比率です。

(注3) 国別配分は発行国を表示しております。

(注4) 通貨別配分は組入投資信託証券の株式評価額に対する比率です。

純資産等

項目	第8期末
	2019年10月25日
純資産総額	2,040,847,768円
受益権総口数	1,674,762,456口
1万口当たり基準価額	12,186円

(注) 期中における追加設定元本額は374,335,763円、同解約元本額は305,107,491円です。

組入上位ファンドの概要

ハーベスト・アジア フロンティア エクイティファンド クラス J

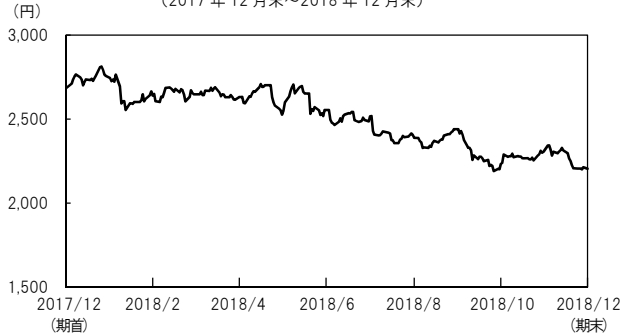
作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書を基に作成しております。

【1口当たり純資産価格の推移】

(2017年12月末～2018年12月末)

【1万口当たりの費用明細】

入手可能な費用明細のデータが存在しないため、掲載しておりません。



- (注1) 設定日の1口当たり純資産価格は1,000円です。
- (注2) 報酬(固定報酬・成功報酬)控除後の数値です。
- (注3) グラフは、BNPパリバ セキュリティーズ・サービスが算出した数値に基づいています。
- (注4) 上記純資産価格は、「ハーベスト アジア フロンティア株式ファンド」の翌営業日の基準価額に反映されます。

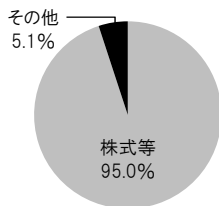
【組入上位 10 銘柄】

(2018年12月末現在)

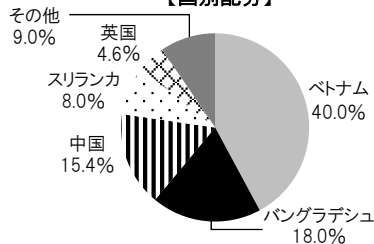
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率(%)
1	VIETNAM DAIRY PRODUCTS JSC	生活必需品	ベトナム・ドン	ベトナム	8.70
2	VIETJET AVIATION JSC	資本財	ベトナム・ドン	ベトナム	7.47
3	AIRPORTS CORP OF VIETNAM JSC	資本財	ベトナム・ドン	ベトナム	6.54
4	SAIGON BEER ALCOHOL BEVERAGE	生活必需品	ベトナム・ドン	ベトナム	5.69
5	BRITISH AMERICAN TOBACCO BAN	生活必需品	バングラデシュ・タカ	バングラデシュ	5.54
6	FPT DIGITAL RETAIL JSC	一般消費財関連	ベトナム・ドン	ベトナム	4.55
7	KAZ MINERALS PLC	素材	英国・ポンド	英国	4.52
8	NO VA LAND INVESTMENT GROUP	不動産	ベトナム・ドン	ベトナム	3.42
9	SHENZHOU INTERNATIONAL GROUP	一般消費財関連	香港ドル	中国	3.12
10	SQUARE PHARMACEUTICALS LTD	ヘルスケア	バングラデシュ・タカ	バングラデシュ	3.11
組入銘柄数					31 銘柄

- (注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。
- (注2) 国(地域)は実際の上場取引所の国々とは必ずしも一致しません。

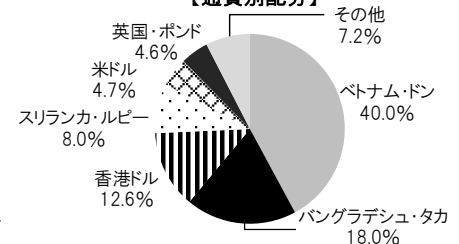
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

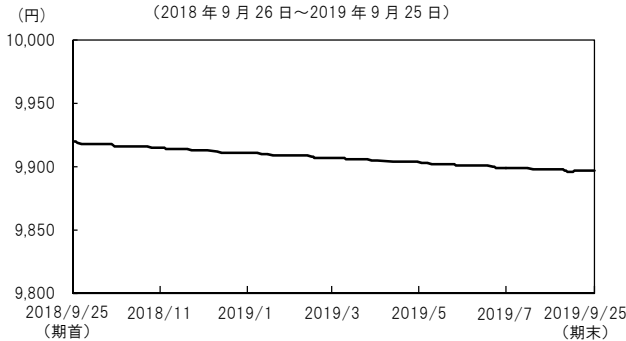


- (注1) 組入銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、2018年12月末現在のものです。
- (注2) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合、国別・通貨別配分の比率は投資信託証券の評価額合計に対する割合です。
- (注3) 各配分比率は、表示単位未満を四捨五入しているため合計が100にならないことがあります。

FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書を基に作成しております。

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2018年9月26日～2019年9月25日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託銀行)	14 (11) (1) (2)	0.140 (0.108) (0.011) (0.022)
(b) その他費用 (監査費用) (その他)	1 (1) (0)	0.008 (0.005) (0.003)
合計	15	0.148

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

当期末における該当事項はありません。

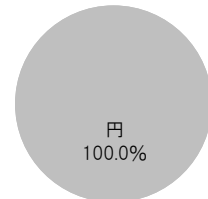
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2019年9月25日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用の明細は、「FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)」の直近の決算期のものです。

(注3) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、「FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)」の組入ファンドである「短期金融資産 マザーファンド」のデータです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

※ 「短期金融資産 マザーファンド」において、日銀の金融緩和継続により短期国債のマイナス金利が常態化するなか、国債と比較してより利回りの高い非国債セクターの保有短期債の満期償還以降は、コールローン等の比率を高めた運用を行い、市場運用ができない資金は受託銀行の金銭信託へ預け入れました。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

〈各指数の概要〉

日本株: Morningstar 日本株式は、Morningstar, Inc.が発表している配当込み株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。

先進国株: Morningstar 先進国株式(除く日本)は、Morningstar, Inc.が発表している配当込み株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。

新興国株: Morningstar 新興国株式は、Morningstar, Inc.が発表している配当込み株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。

日本国債: Morningstar 日本国債は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。

先進国債: Morningstar グローバル国債(除く日本)は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。

新興国債: Morningstar 新興国ソブリン債は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

〈重要事項〉

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社(これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います)が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス(以下「Morningstarインデックス」と言います)の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害(逸失利益を含む)について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。